

令和3年度 第2回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

- I 日 時 令和3年12月20日(月) 19:00~20:25
- II 場 所 中主防災コミュニティセンター 研修室A・B
- III 出席者 (運営協議会委員)
河原 めぐみ、馬場 ゆう子、大林 由梨佳、三笥 絵美、上垣 暢子
山本 雅一
(以上保護者会会長)
神山 良晴 (市自治連合会)
田中 源吾 (市健康福祉部政策監)、遠藤 伊久也 (社会福祉協議会事務局長)
上田 眞弓、西村 幸雄、梶谷 明美、杉本 邦子、立田 裕子、太田 千鶴
(以上学童保育所所長)
(事務局)
水谷 威彦 (事務局次長)、益田 研 (学童保育課課長)
(市健康福祉部)
西村 一嘉 (こども課課長)、本田 和久 (こども課主幹)
中野 良博 (こども課専門員)
- IV 欠席者 浦谷 ふみ子

【内容】

- 1 開会
- 2 運営協議会会長あいさつ (神山会長)
- 3 報告事項

(1) 令和4年度 野洲市こどもの家 (学童保育所) 入所申請状況について

事務局 運営協議会資料1

資料1 枚目

- ・申請期間 11/10~11/13の4日間 及び 12/9~12/11の3日間
平日は、午前9時から午後6時30分 土曜日は、午前9時から午後5時までとし、
一次、二次とも土曜日を含む、合計7日間で受付をした。
- ・申請数については、
一次4日間で902名、二次3日間で225名の合計1,127名
一次申請で約80%、二次申請で20%の割合で申請がある。
- ・令和4年度「申請:1,127名」については、過去最高の申請数であり、令和3年度と
比較して81名の増加となる。
- ・資料の下段に緑色で4/1現在の児童数を表しており、
令和2年度は、申請数1,118に対して、1,075名 (△43)
令和3年度は、申請数1,048に対して、1,030名 (△16)
と、申請総数と4/1スタート時点での児童数には差異があり例年、受付終了後に、保
護者の就労状況や児童の状況等が変わり辞退される方が、一定数いることから、申請

児童数と 4/1 スタート時点での児童数については、変動する見込みである。

申請、受付が終了して、1月末を目途に結果通知を送付する予定である。

資料 2 枚目

- ・申請総数「1,127名」の内、12/15 現在、辞退者 1名、書類未整備 3名を除く、「1,123名」の内訳を一覧にした。
- ・縦に学年別、横に学区別、また学年は男女別、学区は通年・季節の保育区分別にそれぞれ児童数で表しており、黄色で令和 3 年 4 月 1 日現在の児童数を表示して、それぞれ対比している。
- ・受付完了分「1,123名」は、今年度 4/1 と申請終了時との対比で、学年別では、来年の新 1 年生が 271 名と今年度と比較して 21 名増、今年度より卒園される園児の数が増えており、同じく増加している。
他の学年も概ね増加しており、特に来年 2 年、3 年に上がる学年については、ほぼ 100% 継続して利用申請していただいている。
学区別では、野洲から中主まで、全 6 学区とも増加しており、特に北野学区が 24 名増、中主学区が 26 名増と 20 名以上増加している。
- ・4/1 現在と比較して、93 名の増加。保育区分別でも 通年で 67 名、季節利用で 26 名の増加である。通年保育利用は、毎年増加しており 全 1,123 名の 80% が通年保育利用となっている。

資料 3 枚目

- ・令和 4 年度申請分の内、「土曜保育」の利用申請者数の一覧で、令和 3 年 4/1 現在と令和 4 年度の 12/15 現在の申請児童数を学区別と学年別に表している。
- ・全体申込みと同様に、申請児童数が増加している「北野」「中主」での利用申請者数が増えており、全体で 16 名増加している。
- ・学区別では、6 学区すべての小学校区から申請があり、今まで利用のなかった「篠原学区」からも来年度は 2 名の利用申請がある。
- ・学年別では、新 1 年生の利用が 28 名と今年度比で 15 名増。増加のほとんどが新 1 年生の増加が要因となっている。
- ・令和 4 年度は、4 月 2 日の第 1 回目から、年間 50 日の土曜開所を予定している。

月曜日から金曜日の通常保育と同様に、準備をして安定した保育に努めていく。

(2) 野洲市こどもの家（学童保育所）の夏休み昼食導入に関するアンケート結果について

事務局 運営協議会資料 2

調査目的 利用児童の保護者の負担軽減を図る目的として、令和 4 年度の実施を目途に、夏休み昼食導入を検討するため

調査範囲 市内 24 学童保育所（全学童保育所）

調査対象 在籍児童の保護者（令和 3 年 8 月 1 日現在）

調査期間 令和 3 年 8 月 23 日（月）から令和 3 年 9 月 3 日（金）まで 12 日間

アンケート回収 在籍児童 998 名の内、704 名の回収（70.5%）で、704 名の内、611 名（87%）が利用希望となる。

質問 2：夏休みに昼食が導入された場合、利用すると思いますか。

9割近くが希望され、ほとんどの保護者が昼食導入を希望されている。

質問3：週（月～金）に何回昼食の利用を希望しますか。

約半数が毎日利用希望、週2、3回も合わせて4割希望がある。

質問4：昼食の内容として、弁当の他、おにぎり、パン等も検討しています。昼食として希望するものを選んでください。

弁当が4割、複数回答可としているところより、おにぎり、パンの希望も合わせて、5割以上ある。

質問5：お弁当の場合、1食あたり何円ぐらいが妥当ですか。

300円から400円が合わせて8割となる。

質問6：おにぎりやパンの場合、1食あたり何円ぐらいが妥当ですか。

300円から200円で9割、質問5の回答と合わせ、料金設定の参考とする。

質問7：昼食を利用したいと思う理由はなんですか。

導入の目的である「保護者の負担軽減」が6割以上、他に「子どもが喜ぶ」「市内業者に貢献」も合わせて3割程度あり、他のメリットも確認できた。

質問8：昼食の導入で心配に感じることがある場合、それは何ですか。

「昼食代」「食べ残し（食品ロス）」「食中毒」がそれぞれ3割程度あり、導入に向けての課題とし、クリアできるよう検討する。

質問9：昼食の導入に関するご意見・ご要望等ありましたら、ご記入ください。

自由記載ではあったが、回答の中3割以上で記載がある。（計227件）

肯定的な意見が多数を占め、注文方法や献立など具体的な意見も見られた。

現在、市内業者団体を通じて、アンケート結果をもとに、飲食業者を募集している途中である。

「飲食業者・野洲市社会福祉協議会・野洲市こども課」3者で協議しながら導入に向けて、引き続き取り組んでいく。

（3）令和3年度 市内学童保育所の活動紹介 コロナ禍における児童活動について

事務局 令和3年度においても「新型コロナウイルス」感染症の影響により、学童保育所の活動は引き続き一定の制限のもと活動している。保護者の皆様においても、送迎の際、子ども達が活動する「生活室」への入室を制限しており、日々の活動について見ていただく機会が減っている。

しかしながら、指導員は、コロナ禍、制限のある中でも色々工夫して生活づくりをしている。子どもたちの活動をその様子とともに所長より報告してもらう。

上田委員 交通安全教室、体験活動、夏季特別開所の報告

西村委員 春季入所式、夏季保育（5所合同行事）の報告

立田委員 春季入所式、夏季保育（いるかまつり）の報告

梶谷委員 地域との交流（暑中見舞いカードの制作とお届け）の報告

杉本委員 春季・夏季保育、4所合同行事、ぎおうの里への作品展示の報告

太田委員 全館交流活動、野洲学童保育所クラス別活動の報告

（4）その他について

こども課 運営協議会資料3

野洲市学童保育所手洗い自動水栓化工事について

1. 背景と目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学童保育所の手洗い蛇口を非接触の自動水栓に交換し、感染拡大の防止を図る目的で、学童保育所のほか、こども園・保育園・幼稚園も同様に手洗い自動水栓化工事を行った。

2. 器具等

既存の手洗い蛇口の取り付け形状に合うよう、壁付けタイプと台付けタイプにより非接触自動水栓に交換する。

3. 工事

現場の安全管理を徹底すると共に、各工事工程等について事前調整を図りながら実施した。また、コロナ対策としては、国土交通省「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に基づき適正な衛生管理を行っている。

工事業者は、(株)乾設備工業。工期は、令和3年9月1日から令和4年1月28日であるが、工事自体は、完了しており、現在すでに自動水栓を使用している。
(完了検査を残すのみ)

事務局 次回の日程について

日時等の詳細は会長・副会長と協議させていただき決めたい。

予定では、令和4年3月中頃を予定している。